

全国知事会 国民運動本部 今後の取組方針

令和 5 年 11 月 13 日 国民運動本部

【継続】

◆ 関係団体との連携

各常任委員会等を中心に連携を進めている 10 団体との取組を継続・深化
社会情勢を踏まえて、必要に応じて連携団体の追加や取組拡大を検討

◆ 政権評価

全国知事会が実現を望む項目について各政党に理解いただき、
国政選挙における活発な政策論争や今後の党における取組につなげる

【新規】

◆ 行政のスリム化

〈全国的なイベントの見直し〉

全都道府県が持ち回りで開催するイベント等について「開催のあり方」や
「見直しの方向性」について検討

まずは、全国アンケートの結果、負担が大きいとの指摘が最も多かった「国民ス
ポーツ大会」について、文教・スポーツ常任委員会を中心に検討

→主催者である「日本スポーツ協会」において『三巡目の国民スポーツ大会の在
り方の検討』が進んでおり、全国知事会としても意見交換しながら検討を進める。

※詳細については別紙のとおり

〈国による関与の見直し〉

地方分権推進特別委員会と連携し、行政の効率的な業務執行の妨げになっている
ような国の関与等について問題提起していく

◆ 地方自治の意義についての理解拡大

有識者、経済界、メディアなどと地方自治の意義、重要性について意見交換し、
分権型社会の実現に向け、地方自治の理解者を増やす取組を推進

「行政のスリム化」に向けた全国的なイベントのあり方等の検討について

I 全国的なイベントに関するアンケート調査について

1 趣旨

全都道府県が持ち回りで開催している全国的なイベント等について、「財政的負担」「事務的負担」「施設整備」の課題等についてアンケートを実施

2 結果

全体で37のイベントについて214件の意見が寄せられた。

うち、全体の約3割を占める63件がスポーツ関係イベントに係る意見であった。

スポーツ以外のイベントについては、共通した意見が多く見られた。

分野	主な課題	主な改善提案
スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> 競技施設の整備（新設・改修・仮設施設の整備）による多額の経費負担 冬季大会の負担（開催地の偏り） 競技人口の少ない競技施設の維持管理 開催の数年前から準備が必要 近年の猛暑による熱中症対策の負担 	<ul style="list-style-type: none"> 競技ごとに開催地を固定 競技種目、参加人数の見直し 競技施設基準の弾力的運用 部活動の地域移行や教員の働き方改革を踏まえた検討
スポーツ以外	<ul style="list-style-type: none"> 大会の準備や運営等にあたり、開催都道府県の人的・財政的負担が重い 当初の開催目的が現在の社会情勢と乖離 数十年に一度の事務となるため、運営ノウハウが引き継がれない 開催年数を重ねるごとに大会内容が幅広になり、負担が大きい。 主催団体が求める規模で開催できる施設がない イベントの参加者や担い手の減少 	<ul style="list-style-type: none"> 開催頻度の見直し 開催期間の短縮 ブロック開催 式典の簡素化 オンラインを活用したハイブリッド開催 大会規模の見直し

II 検討の方向性

1 国民スポーツ大会などスポーツ分野のイベント

- 国民スポーツ大会については、日本スポーツ協会において大会のあり方等の検討が進んでおり、意見交換を行いながら「開催のあり方」や「見直しの方向性」について文教・スポーツ常任委員会を中心に検討
- 国民スポーツ大会における検討の中で得られた知見やアイデアを他のスポーツ分野のイベント主催者等にも提案

2 全国的イベント全般

アンケート結果や関係する常任委員会等からの意見に基づき、これからの社会情勢に適合した「全国的イベントのあり方」について、夏の全国知事会議に向けて提言をとりまとめ